8.「アルコール消毒液」との違は？

　アルコール消毒液は、芽胞菌（食中毒の原因となるセレウス菌など）や、ノンエンペロープウイルス（ノロウイルスなど）には効果がない、または薄いとされていますが、次亜塩素炭酸水は効果があります。

　アルコール消毒を繰り返すと、肌が弱酸性へ回復する力が低下するため、肌荒れなどの原因となりますが、次亜塩素炭酸水は人肌に近いpH６.0により肌に優しいと言えます。

　また、アルコール消毒液は、アルコールアレルギー、火回りでの消毒、タバコを吸っている手、手荒れ時の消毒などに注意し使用する必要がありますが、次亜塩素炭酸水はその心配がありません。